

株式会社モリサワ 様

本社:大阪市浪速区敷津東2-6-25 東京本社:東京都新宿区下宮比町2-27
 創業:1924年(大正13年)7月 設立:1948年(昭和23年)12月
 代表者:森澤彰彦 資本金:1億円
 事業所:国内7拠点(上記以外に仙台/名古屋/札幌/福岡/鹿児島)、
 海外3拠点(米国/台湾/韓国)
 従業員数:270名 ※2017年2月28日現在



導入機種: YVC-1000MS/1台、FLX UC 500/5台、YVC-300/4台、PJP-20UR/20台
 導入時期: 2016年1月より順次(FLX UC 500/YVC-300/PJP-20UR)、
 2017年11月(YVC-1000MS)

基本構成: 本社を含む拠点(国内7拠点/海外3拠点)の会議室に、Skype for Businessをインストールした専用小型PC+ネットワークカメラ+ヤマハのスピーカーフォン(YVC-1000MS/FLX UC 500/YVC-300)を導入。各会議室をつないで実施するWeb会議の高音質化を実現。

YVC-1000MS/FLX UC 500/YVC-300 導入効果のポイント

Office 365の全社導入にともない
Web会議システムを
Skype for Businessに移行

PCベースのWeb会議における
音声の弱点をヤマハの
スピーカーフォンでカバー

Skype for Business認証モデル
「YVC-1000MS」の導入で更なる
音声品質向上を目指す



Office 365全社導入でSkype for BusinessによるWeb会議へ。 既存のスピーカーフォンのトラブルを解消しつつ、より高品質な音声を実現。

■ Office 365の全社導入にともないWeb会議システムを Skype for Businessに移行

- メールシステム刷新に向けOffice 365を全社導入
- 既存Web会議システムをPC+Skype for Businessに移行
- 事前設定やランニングコストなど既存Web会議システムの課題を解決

メールシステムの刷新に向けて、2016年1月にクラウド型グループウェアOffice 365を全社導入した株式会社モリサワ(以下、モリサワ)。既存のWeb会議システム(カメラ/スピーカーフォン一体型機器)は、音声出力系が貧弱で聞き取りづらい、持ち込む会議室によってはネットワーク設定が必要、1台につき年間10万円弱のランニングコストがかかる、オフショア開発の海外拠点やグループ会社との間では使えない…などの課題があったことから、Office 365のサービスの1つであるSkype for Business を利用したWeb会議に移行し、これら課題の解決を目指すことにしました。

■ PCベースのWeb会議における音声の弱点をヤマハの スピーカーフォンでカバー

- ヤマハのスピーカーフォンを追加導入しWeb会議の音声品質向上を実現
- コンパクトながら大出力のFLX UC 500を中規模会議室に常設
- コンパクトでAC電源不要のYVC-300/PJP-20URを各フロアや拠点に配置

PCベースでSkype for Businessを利用するWeb会議でも音声出力系が弱点であることは変わりありません。そこでモリサワでは、会議室の広さにあわせてヤマハのスピーカーフォン3モデルの追加導入に踏み切りました。それ以前から導入・利用していたPJP-20URの音声品質や、シンプルな操作性、

トラブルフリーの信頼感などが決め手になったと言います。専用小型PCなど必要な機器を常設する中会議室にはAC電源のFLX UC 500×5台を、本社各フロアや拠点の小規模に会議室にはPJP-20URに加え、USBバスパワーで可搬性にすぐれるYVC-300×4台を導入しました。中でも特に、スピーカーフォンとしては異例のツイーターとミッドウーファーからなる本格的2スピーカーシステムを搭載するFLX UC 500については、「コンパクトなサイズからは想像できない豊かな音量にも驚きましたが、とにかく聞き取りやすさですがヤマハだと思いました」とその音声品質を高く評価しています。

■ Skype for Business認証モデル「YVC-1000MS」の 導入で更なる音声品質向上を目指す

- Skype for Business向けマイクロソフト認定モデルYVC-1000MSを追加導入
- Skype for Businessに最適化された高品質な音声をあらゆる環境で実現
- ユーザにとってよりシンプルな操作性を実現

更に2017年11月には、既存の他社製スピーカーフォンに代えて、発売になったばかりのフラッグシップモデルYVC-1000MSを本社大会議室に導入しています。同製品は、従来のYVC-1000をベースにSkype for Businessに最適化されたマイクロソフト認定モデルで、専用の音質チューニングやマイクミュート連動などの仕様調整によって、どんな場所やデバイスでも高品質な音声を実現するのが特長です。また、YVC-1000にはないコールボタンの搭載によって、YVC-1000MS単体での(PCで操作不要)発着信や通話終了が可能になるなど、よりシンプルな操作性を実現しています。



ご購入
いただいた
機器

YVC-1000MS 希望小売価格:120,000円(税抜)
 JANコード:49 57812 55991 1
 Skype for Businessとのコラボレーションで
 ワークスタイルを変革。8~40人規模の中大会議に最適
 (マイク1台で8人規模、5台まで連結可能)。

FLX UC 500 オープン価格
 高性能マイクと高音質スピーカーで快適な
 遠隔コミュニケーションが可能。
 6~10人程度の中規模Web会議に最適。

YVC-300 希望小売価格:50,000円(税抜)
 JANコード:49 57812 59455 4
 ポータブルで利用場所を選ばず、PC・スマートフォンと
 簡単に接続。4~6名程度の小規模会議に最適。

お客様の声

シンプルな操作性とトラブルフリーが実現する、
導入後の“手のかからなさ”はこれからのIT機器の必須条件

実は、大会議室・中会議室には他社製スピーカーフォンを導入・利用していたのですが、ケーブルの接続部が緩いためか、接続不良により音声がか切れたり、移動すると簡単に抜けてしまったりといったトラブルが度々発生していました。この問題もヤマハのスピーカーフォンにリプレイスしたことで解決できました。YVC-1000MSを導入した直後には、会議室を利用した社員から「(新しいスピーカーフォンにして)すごく音がよくなったね!」と声をかけられました。こちらから聞いたわけではなかったのですが、よほど印象に残ったのだと思います。現在私達を含め5名の情報システム課でWeb会議システムを含む全社のIT全般を見ており、導入機器に関するトラブル対応はできるだけ少ないのが理想です。その意味で、ヤマハ製品、ヤマハブランドに対する社員の高い評価や信頼は、導入する私達にとっても大きな安心につながっています。



株式会社モリサワ 本社
情報システム課 課長代理
山下 剛 様

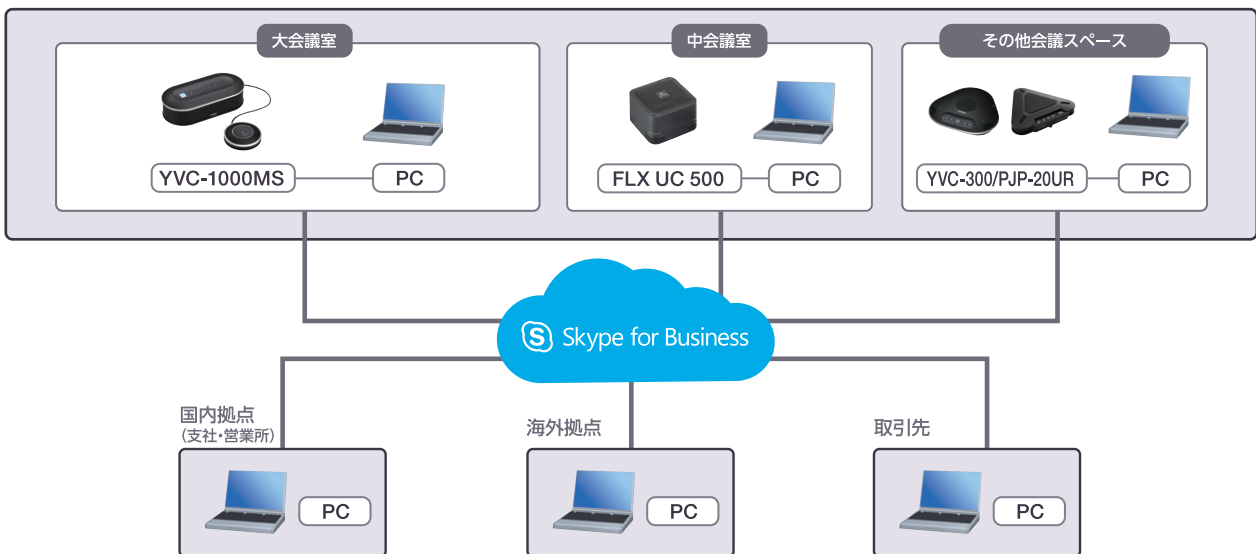


株式会社モリサワ 本社
情報システム課
南谷 晃律 様

株式会社モリサワ様におけるYVC-1000MS/FLX UC 500/YVC-300の活用方法

- 2009年に竣工した本社ビル(大阪)には、10名以上で利用できる大会議室や10名以下を想定した中会議室のほか、各フロアに小会議室があり、それぞれにWeb会議システム(Skype for Business導入済み小型PC+カメラ+ヤマハのスピーカーフォン)を備え、社員は会議室予約システムから予約して利用できるようにしています。
 - また、東京本社、仙台・名古屋支社、札幌・福岡・鹿児島営業所のほか、
- 米国・台湾・韓国の拠点にも同様のシステムを備え、Skype for Businessによる遠隔会議・打ち合わせで、出張削減・業務スピードアップを実現しています。
- 大阪本社の大・中会議室にはYVC-1000MSおよびFLX UC 500を、各フロアの小会議室やその他拠点の会議室にはYVC-300およびPJP-20URを導入することで、Web会議の音質向上を図っています。

本社



YVC-1000MS/FLX UC 500/YVC-300の製品情報はこちら
<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/>



●本資料に記載された製品名および企業名は、各社の登録商標または商標です。



音声コミュニケーション機器お客様ご相談センター

■ お電話によるお問い合わせ先 ☎ 03-5651-1838 ■ FAXによるお問い合わせ先 📠 053-460-3489

ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

メールでのお問い合わせはこちら <https://sound-solution.yamaha.com/support/uc/>